



## 害獣が集落に残した痕跡 ~多く見られるほど被害も多発~

### 1) 害獣の足跡

複数の足跡、獣種は不明（播種直後の大豆畑）



### 2) 害獣の通り道

法面に生じた獣道（画面上の農地に足跡多数）



### 3) 害獣の糞

(1) シカ (草食性)



- 見た目は粒状
- ため糞 (特定の場所で排泄する) の習性なし
- 色は暗褐色
- 新しいものは表面に光沢あり

撮影場所：山間部の大豆畑周辺

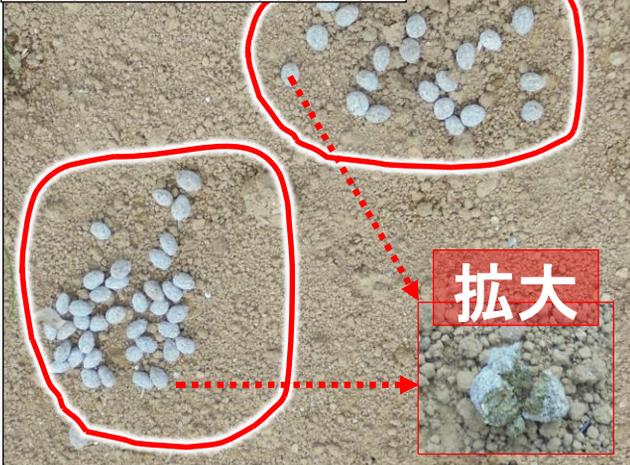
(2) イノシシ (主に草食)



- 見た目は多くの場合塊状
- ため糞 (特定の場所で排泄する) の習性なし
- 色は暗褐色または黒色、食べたものにより変化あり
- 新しいものは表面に光沢あり

撮影場所：山間部の大豆畑周辺

(3) ノウサギ (草食性)



- 見た目は粒状、シカのものに類似
- ため糞 (特定の場所で排泄する) の習性なし
- 時間が経過したものは、写真のように表面が乾燥により白く変色している場合あり
- 新しいものは暗緑褐色

注) 割ってみると植物の繊維が見える。

撮影場所：平坦地の畑 (周辺がやぶ)

例 (4) タヌキ (雑食性)



- 見た目は食べたものにより様々
- **ため糞 (特定の場所で排泄する) の習性あり**
- 色は多くの場合褐色または黒色で、食べたものによる変化が大きいことが特徴

撮影場所：畑に隣接した宅地

- 足跡と通り道をたどることにより、害獣の侵入する方向が分かります。
- 農地等に落ちている害獣の糞は、獣種を特定し対策の方法を考える上で貴重な手がかりとなります！

お問合せ先：大分県中部振興局

• 農業被害の調査、対策活動の支援は→生産流通部各班

(代表) 097-506-5796

• 防護柵関連、狩猟、林業被害対策は→農山漁村振興部森林管理班 (直通) 097-506-5749